

令和8年度  
仲町地内配水管布設工事

数 量 計 算 書

飯 能 市 上 下 水 道 部  
水 道 工 務 課

## 工事数量一覧表

費目・工種・種別・細目	数量	単位	数量根拠
開削工事及び小口径推進工事等03			
	1	式	
配水管布設工			
	1	式	
HPPE φ50 管路延長 L=92.8m			
	1	式	
材料 HPPE φ50			
	1	式	
HPPE直管 (受口付) φ50			数量計算書
	17	本	12+5
EF片受バンド φ50×45°			数量計算書
	6	個	
EF両受バンド φ50×45°			数量計算書
	14	個	
EF片受Sバンド φ50×H300			数量計算書
	2	個	
EF片受Sバンド φ50×H450			数量計算書
	1	個	
EFソケット φ50			数量計算書
	4	個	
DIP用継手. 防食フィルム付サドル分水栓 φ100×φ50			数量計算書
	1	個	
EF変換ソケット φ50 分水栓用			数量計算書
	1	個	
PVジョイント φ50			数量計算書
	1	個	
VP用管栓帽 SQVK φ50 スライド・ロック式			数量計算書
	1	個	
PP用管栓帽 φ50			数量計算書
	1	個	

## 工事数量一覧表

費目・工種・種別・細目	数量	単位	数量根拠
フランジ蓋 (RF形 本体のみ) φ 75 フランジ接合材B.N.P 無	1	個	数量計算書
フランジ接合材 RF形7.5K B.N.P. (SUS) φ 75 パッキン布入り	1	個	数量計算書
K形 管帽 特殊押輪付 B.N.P φ 75 内面エポキシ樹脂粉体塗装	1	個	数量計算書
埋設物探知シート(飯能市仕様) 150mm× 50m	91.4	m	数量計算書
管明示テープ 青色 白文字 年号入り 30mm× 20m	6	巻	数量計算書
労務 HPPE φ50	1	式	
サドル分水栓建込み 分岐呼び径50mm 鋳鉄管 呼び径100mm	1	箇所	数量計算書
コア取付け工 呼び径50mm	1	箇所	数量計算書
ポリエチレン管(融着接合(EF接合))据付工 呼び径50mm	91.4	m	数量計算書
ポリエチレン管(融着接合)継手工 1口継手 呼び径50mm	55	口	数量計算書
ポリエチレン管(融着接合)継手工 2口継手 呼び径50mm	4	箇所	数量計算書
ポリエチレン管継手工(メカニカル継手) 呼び径50mm	4	口	数量計算書
メカニカル継手 呼び径75mm以下 割増有り モルタル充填工無	1	口	数量計算書
フランジ継手 呼び径75(80)mm 鋳鉄管:JWWA 7.5K	1	口	数量計算書
鋳鉄管フランジ継手取外し 呼び径75(80)mm 鋳鉄管:JWWA 7.5K	1	口	数量計算書
鋳鉄管K形(メカニカル)継手取外し 呼び径75mm以下	1	口	数量計算書

## 工事数量一覧表

費目・工種・種別・細目	数量	単位	数量根拠
ポリエチレン管切断 呼び径50mm	22	口	数量計算書
硬質塩化ビニル管切断 呼び径50mm	2	口	数量計算書
鋳鉄管切断(エンジンカッター使用) 呼び径75mm	1	口	数量計算書
管明示テープ φ50 ポリエチレン管布設工 天端明示無	92.8	m	数量計算書
溶剤浸透防護スリーブ被覆 呼び径75mm以下 固定用ゴムバンド	92.8	m	数量計算書
管明示シート	91.4	m	数量計算書
配水管土工	1	式	
配水管土工	1	式	
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	180	m	数量計算書
小型バックホウによる舗装版直接掘削・積込 舗装厚0cm超え10cm以下 バックホウ クローラ 山積0.13m <sup>3</sup>	1	m <sup>2</sup>	数量計算書
舗装版破碎 アスファルト舗装版 厚4cmを超え10cm以下 障害等有り 積込作業有	54	m <sup>2</sup>	数量計算書 舗装版人力掘削工
バックホウ掘削積込 クローラ型 山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2)	1	m <sup>3</sup>	数量計算書
床掘り 土砂 現場制約あり	40	m <sup>3</sup>	数量計算書 人力掘削積込工
人力運搬(積込み～運搬～取卸し) 換算距離60m以下	40	m <sup>3</sup>	数量計算書
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) 砂質土(埋戻用) クローラ型 山積0.28m <sup>3</sup> 埋戻し+締め	0.9	m <sup>3</sup>	数量計算書
埋戻し 人力 砂質土	30	m <sup>3</sup>	数量計算書

## 工事数量一覧表

費目・工種・種別・細目	数量	単位	数量根拠
間詰路盤工(人力路盤施工) 再生切込碎石40~0mm (RC-40) 仕上り厚=25cm	67	m2	数量計算書
路盤工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 下層路盤 仕上り厚0.2m 再生切込碎石 40~0mm	1	m2	数量計算書
路盤工(施工幅1.8m未満)(2層) 上層路盤 仕上り厚0.17m 再生粒調碎石 40~0mm	1	m2	数量計算書
アスファルト舗装工(人力)(車道・路肩)(1層) 舗装厚30mm 再生密粒度アスコン(13) t≤50mm プライムコート(PK-3)	1	m2	数量計算書
仕切弁設置	1	式	
仕切弁設置工	1	式	
仕切弁設置(材工) HPPE φ50 両ポリエチレン挿し口	2	基	数量計算書
本設給水工	1	式	
給水工	1	式	
給水管布設工(道路内)	1	式	数量計算書
給水管布設(材工) PP φ20	8.6	m	数量計算書
給水管布設(材工) PP φ25	0.7	m	数量計算書
サドル付き分水栓設置 HPPE φ50×25	1	箇所	数量計算書
サドル付き分水栓設置 HPPE φ50×20	11	箇所	数量計算書
宅内給水工(メーター接続) 標準 φ20以下	8	箇所	数量計算書
宅内給水工(境界接続) 標準 φ20以下	1	箇所	数量計算書

## 工事数量一覧表

費目・工種・種別・細目	数量	単位	数量根拠
宅内給水工（止水栓接続） 標準 φ20以下	2	箇所	数量計算書
宅内給水工（メーター接続） 標準 φ25	1	箇所	数量計算書
給水管土工	1	式	
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	24	m	数量計算書
舗装版切断 コンクリート舗装版 15cm以下	4	m	数量計算書
舗装版破砕 アスファルト舗装版 厚4cmを超え10cm以下 障害等有り 積込作業有	6	m <sup>2</sup>	数量計算書 舗装版人力掘削工
構造物とりこわし 無筋構造物 人力施工 昼間 時間制約無	0.1	m <sup>3</sup>	数量計算書
床掘り 土砂 現場制約あり	8	m <sup>3</sup>	数量計算書 人力掘削積込工
人力運搬（積込み～運搬～取卸し） 換算距離60m以下	8	m <sup>3</sup>	数量計算書
埋戻し 人力 砂質土	2	m <sup>3</sup>	数量計算書
埋戻し 現場制約あり 土砂 締固め有り	5	m <sup>3</sup>	数量計算書 人力埋戻工
間詰路盤工（人力路盤施工） 再生切込碎石40～0mm（RC-40） 仕上り厚=25cm	5	m <sup>2</sup>	数量計算書
間詰路盤工（人力路盤施工） 再生切込碎石40～0mm（RC-40） 仕上り厚=10cm	4	m <sup>2</sup>	数量計算書
アスファルト舗装工（人力）（歩道）（1層） 舗装厚50mm 再生密粒度アスコ（13） t≤50mm フライムコート（PK-3）	3	m <sup>2</sup>	数量計算書
コンクリート 人力打設 無筋・鉄筋構造物 生コンクリート各種 養生無し	0.1	m <sup>3</sup>	数量計算書
人力運搬（積込み～運搬～取卸し） 換算距離20m以下	5	m <sup>3</sup>	数量計算書

## 工事数量一覧表

費目・工種・種別・細目	数量	単位	数量根拠
撤去工	1	式	
撤去工	1	式	
撤去管吊上げ積込み(鉄管) 機械力 呼び径75mm以下	0.5	m	数量計算書
撤去管吊上げ積込み(硬質塩化ビニル管) 呼び径50mm	0.6	m	数量計算書
鉄製仕切弁撤去(機械力)(縦型) 呼び径100mm以下 クレーン付トラック使用	3	基	数量計算書
撤去土工	1	式	
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	6	m	数量計算書
小型バックホウによる舗装版直接掘削・積込 舗装厚0cm超え10cm以下 バックホウ クローラ 山積0.13m <sup>3</sup>	1	m <sup>2</sup>	数量計算書
舗装版破砕 アスファルト舗装版 厚4cmを超え10cm以下 障害等有り 積込作業有	0.6	m <sup>2</sup>	数量計算書 舗装版人力掘削工
バックホウ掘削積込 クローラ型 山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2)	2	m <sup>3</sup>	数量計算書
床掘り 土砂 現場制約あり	0.4	m <sup>3</sup>	数量計算書 人力掘削積込工
人力運搬(積込み～運搬～取卸し) 換算距離60m以下	0.4	m <sup>3</sup>	数量計算書
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) 発生土 クローラ型 山積0.28m <sup>3</sup> 埋戻し+締固め	2	m <sup>3</sup>	数量計算書
埋戻し 現場制約あり 土砂 締固め有り	0.3	m <sup>3</sup>	数量計算書 人力埋戻工
間詰路盤工(人力路盤施工) 再生切込砕石40～0mm (RC-40) 仕上り厚=25cm	0.6	m <sup>2</sup>	数量計算書
路盤工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 上層路盤 仕上り厚0.1m 再生切込砕石 40～0mm	1	m <sup>2</sup>	数量計算書

## 工事数量一覧表

費目・工種・種別・細目	数量	単位	数量根拠
路盤工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 下層路盤 仕上り厚0.2m 再生切込碎石 40～0mm	1	m2	数量計算書
路盤工(施工幅1.8m未満)(2層) 上層路盤 仕上り厚0.17m 再生粒調碎石 40～0mm	1	m2	数量計算書
アスファルト舗装工(人力)(車道・路肩)(1層) 舗装厚30mm 再生密粒度アスコン(13) t≤50mm プライムコート(PK-3)	1	m2	数量計算書
発生土運搬費 ダンプトラック4t積級 運搬距離0.5km DID区間有り バックホウ クロー 山積0.28m3	2	m3	数量計算書
人力運搬(積込み～運搬～取卸し) 換算距離20m以下	0.3	m3	数量計算書
本復旧工	1	式	
本復旧工	1	式	
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	9	m	数量計算書
小型バックホウによる舗装版直接掘削・積込 舗装厚0cm超え10cm以下 バックホウ クロー 山積0.13m3	14	m2	数量計算書
舗装版破碎 アスファルト舗装版 厚4cmを超え10cm以下 障害等有り 積込作業有	59	m2	数量計算書 舗装版人力掘削工
床掘り 土砂 現場制約あり	3	m3	数量計算書 人力掘削積込工
人力運搬(積込み～運搬～取卸し) 換算距離60m以下	3	m3	数量計算書
不陸整正工(施工幅1.8m以上)(1層当り) 整正厚0.01m 再生切込碎石 40～0mm	14	m2	数量計算書
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚50mm 再生密粒度アスコン(13) 平均幅員1.4～3.0m以下 プライムコート 締固密度2.35	14	m2	数量計算書
不陸整正工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 補足材なし 再生切込碎石 40～0mm	122	m2	数量計算書
透水性アスファルト舗装 平均幅員1.4m未満 1層当り仕上厚50mm	122	m2	数量計算書

## 工事数量一覧表

費目・工種・種別・細目	数量	単位	数量根拠
運搬・処分工	1	式	
運搬	1	式	
運搬工（処分）	1	式	
発生土運搬費 ダンプトラック4t積級 運搬距離8.9km DID区間有り バックホウ クローラ 山積0.28m <sup>3</sup>	50	m <sup>3</sup>	数量計算書
アスファルト塊・コンクリート塊（無筋）運搬費 ダンプトラック4t積級 運搬距離5.1km DID区間有り バックホウ クローラ 山積0.28m <sup>3</sup>	7	m <sup>3</sup>	数量計算書
アスファルト切断濁水運搬費 積載量2t 運搬距離 10kmまで	1	台	数量計算書
現場発生品運搬 運搬距離4.8km	1	式	数量計算書
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し クレーン装置付2t積 吊能力2.9t	0.14	t	数量計算書
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付2t積 吊能力2.9t DID区間有 運搬距離5.0km以下	0.14	t	数量計算書
処分	1	式	数量計算書
処分工	1	式	数量計算書
UCR処分費 青梅地区(オ), (カ), (キ), (シ) 敷均し費、処分雑費含む	50	m <sup>3</sup>	数量計算書
廃材持込料 As廃材 飯能県土整備事務所	16	t	数量計算書
廃材持込料 Co廃材[無筋] 飯能県土整備事務所	0.2	t	数量計算書
舗装切断濁水汚泥処分	0.3	m <sup>3</sup>	数量計算書



配水管 (H P P E  $\phi$  50 )



## 切り管調整

HPPE φ 50

本数	甲切り管 (m)	乙切り管 (m)				切り管長 (m)	残管 (m)	切断工 口
		1	2	3	4			
1	① 3.50	① 0.63	① 0.41	① 0.38		4.92	0.08	4
2	① 1.00	① 0.50	① 0.59	① 0.63	① 0.34	4.97	0.03	5
		① 1.00	① 0.49	① 0.42				3
3	① 2.41	① 0.73	① 0.49	① 0.50	① 0.78	4.91	0.09	5
4	① 2.73	① 0.60	① 1.43			4.76	0.24	3
5	① 4.30	① 0.55				4.85	0.15	2
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
切り管長						24.41	0.59	22口
$( 24.41 + 0.59 ) \div 5\text{m /本} =$						5本		

$$\begin{array}{r} \text{直管本数} = \text{定尺管} \quad 12 \\ \quad \quad \quad \text{切管用} \quad \quad 5 \\ \hline \text{HPPE } \phi 50 \quad (L = 5.0 \text{ m}) \quad 17 \end{array}$$

$$\text{管明示工 } \phi 50 \quad (0.06 \times 3.14 \times 1.5 \times 92.7 + 92.7) \div 20 = \quad 5.9 = 6\text{巻}$$

$$\text{新設管残管重量 } \phi 50 \quad 0.00108 (\text{t/m}) \times 0.59 (\text{m}) = \quad 0.001 \text{ t}$$



# 配 水 管 土 工





配水管土工計算 一般車道舗装(密粒) 配水管布設部 延長 = 1.00 m

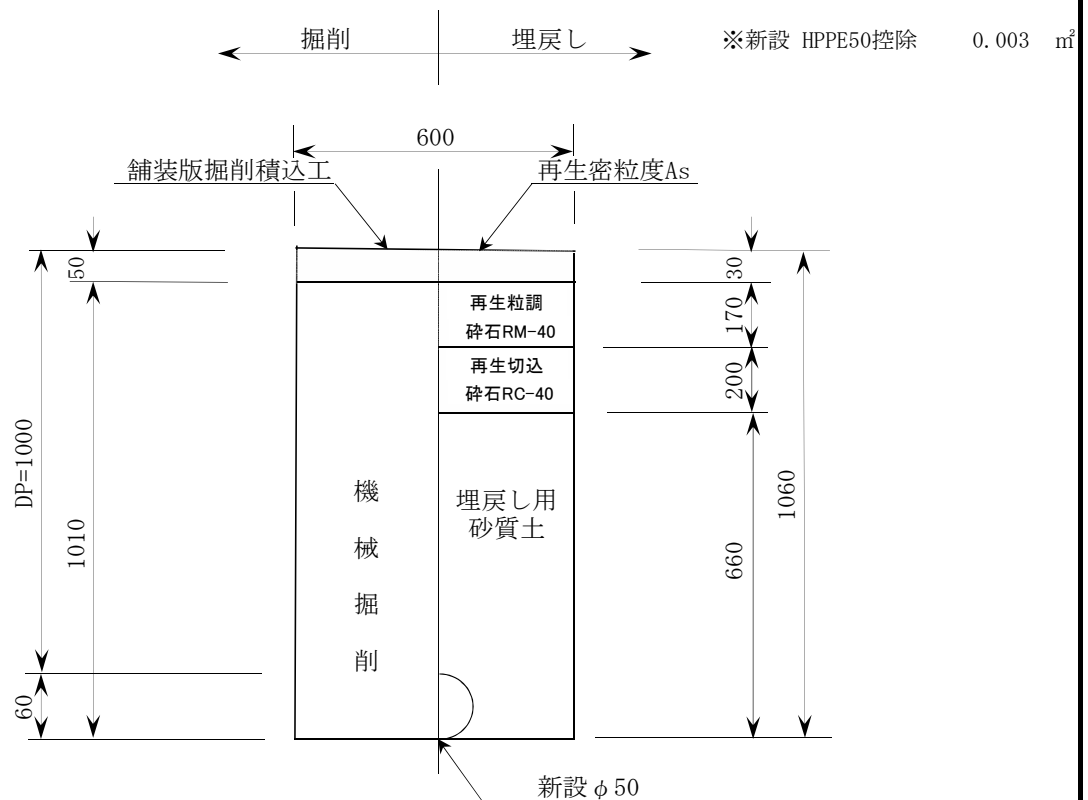
NO. 1  
布設

新設 HPPE50 DP=1.00

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	$1.00 \times 2$	$= 2.00 \text{ m}$
舗装版直接掘削積込工	0.20 <sup>3</sup> ハックホ Ast=10cm以下	$0.60 \times 1.00$	$= 0.60 \text{ m}^2$
機械掘削積込工	0.2m <sup>3</sup> ハックホ	$0.60 \times 1.01 \times 1.00$	$= 0.61 \text{ m}^3$
機械埋戻工	0.2m <sup>3</sup> ハックホ 砂質土	$(0.60 \times 0.66 - 0.003) \times 1.00$	$= 0.39 \text{ m}^3$
	0.2m <sup>3</sup> ハックホ 発生土		$= \text{ m}^3$
残土処分工	機械積 AS 4t車	$0.60 \times 0.05 \times 1.00$	$= 0.03 \text{ m}^3$
残土処分工	機械積 土砂 4t車	0.61	$= 0.61 \text{ m}^3$
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	$0.60 \times 1.00$	$= 0.60 \text{ m}^2$
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 17cm	$0.60 \times 1.00$	$= 0.60 \text{ m}^2$
As舗装工	再生密粒度Asコン t= 3cm	$0.60 \times 1.00$	$= 0.60 \text{ m}^2$
発生土運搬工 (仮置場)	0.2m <sup>3</sup> ハックホ 4t車	$\div 0.90$	$= \text{ m}^3$

略

図



配水管土工計算 一般車道舗装(透水) 配水管布設部 延長 = 1.00 m

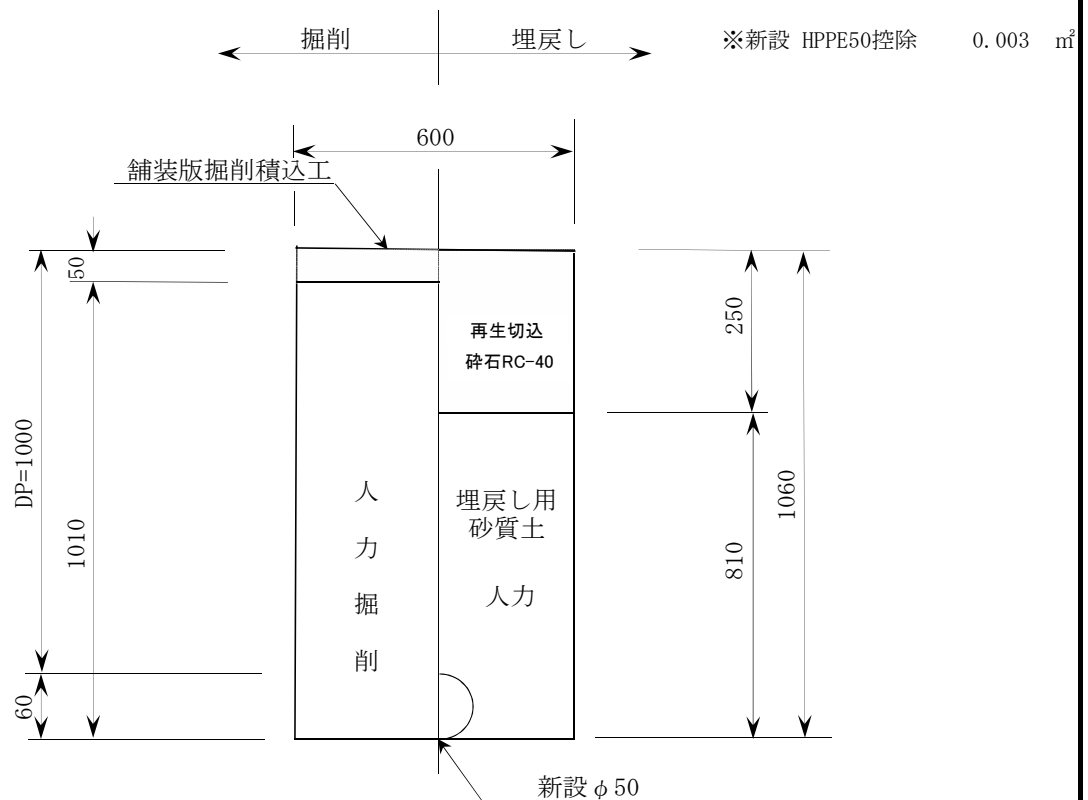
NO.2  
布設

新設 HPPE50 DP=1.00

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	$1.00 \times 2$	$= 2.00 \text{ m}$
舗装版人力掘削積込工	Ast=5cm	$0.60 \times 1.00$	$= 0.60 \text{ m}^2$
人力掘削積込工		$0.60 \times 1.01 \times 1.00$	$= 0.61 \text{ m}^2$
人力運搬工	市道及び県道まで 60m以下	$0.60 \times 1.01 \times 1.00$	$= 0.61 \text{ m}^2$
人力埋戻工	砂質土	$(0.60 \times 0.81 - 0.003) \times 1.00$	$= 0.48 \text{ m}^2$
	発生土		$= \text{m}^2$
残土処分工	機械積 AS 4t車	$0.60 \times 0.05 \times 1.00$	$= 0.03 \text{ m}^2$
	機械積 土砂 4t車	0.61	$= 0.61 \text{ m}^2$
路盤工	再生切込碎石 t= 25cm	$0.60 \times 1.00$	$= 0.60 \text{ m}^2$
上層路盤工	再生粒調碎石		$= \text{m}^2$
As舗装工	再生密粒度アスコン		$= \text{m}^2$
発生土運搬工 (仮置場)	0.2m <sup>3</sup> バックホウ 4t車	$\div 0.90$	$= \text{m}^2$

略

図



配水管土工計算 一般車道舗装(透水) 配水管布設部 延長 = 1.00 m

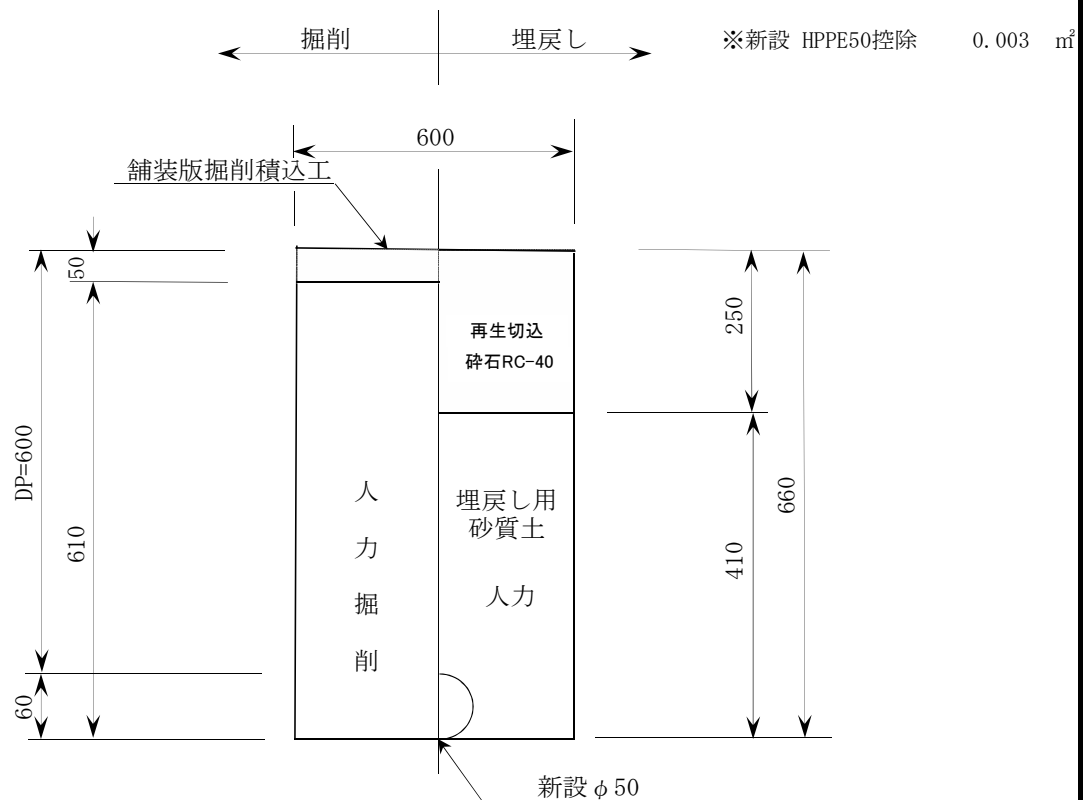
NO. 3  
布設

新設 HPPE50 DP=0.60

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	$1.00 \times 2$	$= 2.00 \text{ m}$
舗装版人力掘削積込工	Ast=5cm	$0.60 \times 1.00$	$= 0.60 \text{ m}^2$
人力掘削積込工		$0.60 \times 0.61 \times 1.00$	$= 0.37 \text{ m}^3$
人力運搬工	市道及び県道まで 60m以下	$0.60 \times 0.61 \times 1.00$	$= 0.37 \text{ m}^3$
人力埋戻工	砂質土	$(0.60 \times 0.41 - 0.003) \times 1.00$	$= 0.24 \text{ m}^3$
	発生土		$= \text{m}^3$
残土処分工	機械積 AS 4t車	$0.60 \times 0.05 \times 1.00$	$= 0.03 \text{ m}^3$
	機械積 土砂 4t車	0.37	$= 0.37 \text{ m}^3$
路盤工	再生切込碎石 t= 25cm	$0.60 \times 1.00$	$= 0.60 \text{ m}^2$
上層路盤工	再生粒調碎石		$= \text{m}^2$
As舗装工	再生密粒度アスコン		$= \text{m}^2$
発生土運搬工 (仮置場)	0.2m <sup>3</sup> バックホウ 4t車	$\div 0.90$	$= \text{m}^3$

略

図



配水管土工計算 一般車道舗装(透水) 配水管布設部 延長 = 1.00 m

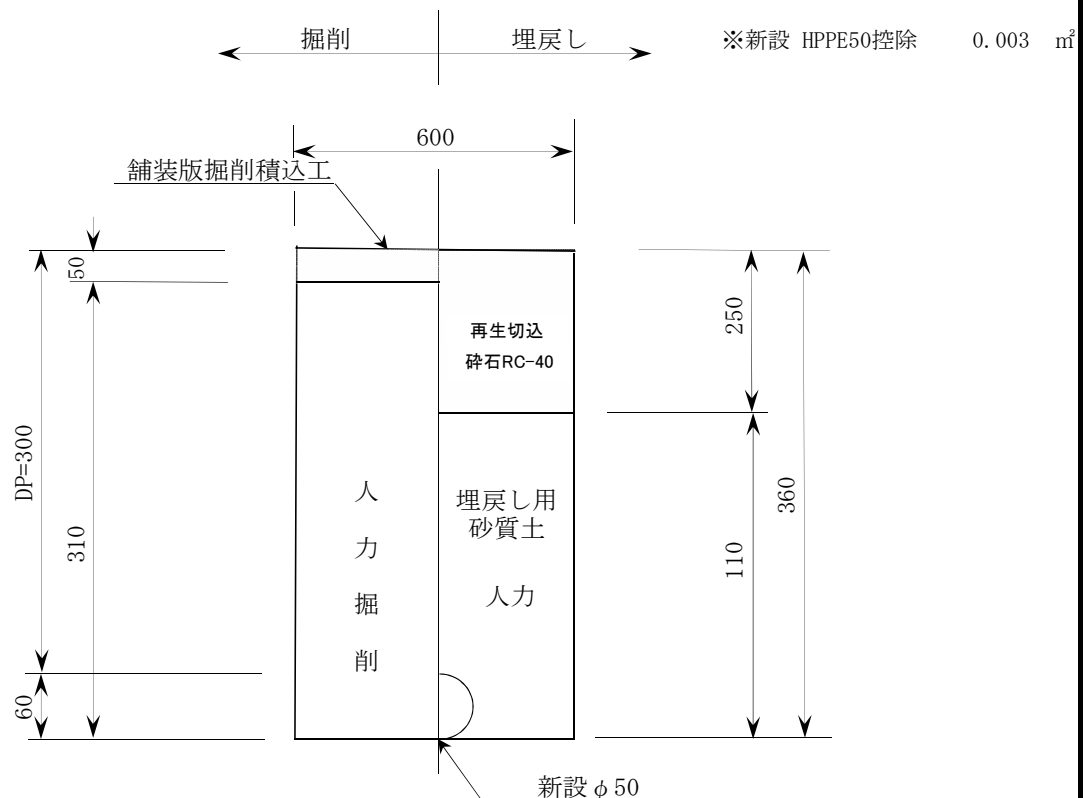
NO. 4  
布設

新設 HPPE50 DP=0.30

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	$1.00 \times 2$	$= 2.00 \text{ m}$
舗装版人力掘削積込工	Ast=5cm	$0.60 \times 1.00$	$= 0.60 \text{ m}^2$
人力掘削積込工		$0.60 \times 0.31 \times 1.00$	$= 0.19 \text{ m}^3$
人力運搬工	市道及び県道まで 60m以下	$0.60 \times 0.31 \times 1.00$	$= 0.19 \text{ m}^3$
人力埋戻工	砂質土	$(0.60 \times 0.11 - 0.003) \times 1.00$	$= 0.06 \text{ m}^3$
	発生土		$= \text{m}^3$
残土処分工	機械積 AS 4t車	$0.60 \times 0.05 \times 1.00$	$= 0.03 \text{ m}^3$
	機械積 土砂 4t車	0.19	$= 0.19 \text{ m}^3$
路盤工	再生切込碎石 t= 25cm	$0.60 \times 1.00$	$= 0.60 \text{ m}^2$
上層路盤工	再生粒調碎石		$= \text{m}^2$
As舗装工	再生密粒度アスコン		$= \text{m}^2$
発生土運搬工 (仮置場)	0.2m <sup>3</sup> バックホウ 4t車	$\div 0.90$	$= \text{m}^3$

略

図



配水管土工計算 一般車道舗装(透水) 配水管布設部 延長 = 1.00 m

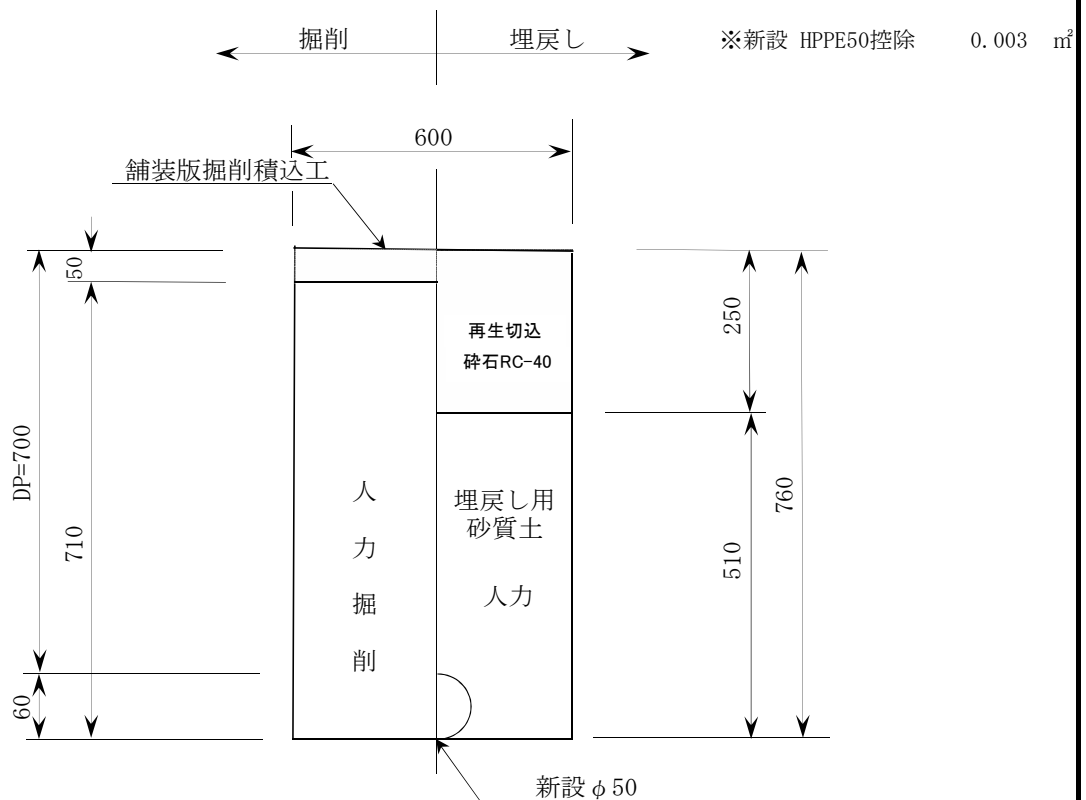
NO.5  
布設

新設 HPPE50 DP=0.70

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	$1.00 \times 2$	$= 2.00 \text{ m}$
舗装版人力掘削積込工	Ast=5cm	$0.60 \times 1.00$	$= 0.60 \text{ m}^2$
人力掘削積込工		$0.60 \times 0.71 \times 1.00$	$= 0.43 \text{ m}^3$
人力運搬工	市道及び県道まで 60m以下	$0.60 \times 0.71 \times 1.00$	$= 0.43 \text{ m}^3$
人力埋戻工	砂質土	$(0.60 \times 0.51 - 0.003) \times 1.00$	$= 0.30 \text{ m}^3$
	発生土		$= \text{m}^3$
残土処分工	機械積 AS 4t車	$0.60 \times 0.05 \times 1.00$	$= 0.03 \text{ m}^3$
残土処分工	機械積 土砂 4t車	0.43	$= 0.43 \text{ m}^3$
路盤工	再生切込碎石 t= 25cm	$0.60 \times 1.00$	$= 0.60 \text{ m}^2$
上層路盤工	再生粒調碎石		$= \text{m}^2$
As舗装工	再生密粒度アスコン		$= \text{m}^2$
発生土運搬工 (仮置場)	0.2m <sup>3</sup> バックホウ 4t車	$\div 0.90$	$= \text{m}^3$

略

図



配水管土工計算

一般車道舗装(透水) 配水管布設部 延長 = 1.00 m

NO. 6

既設 HIVP50 DP=0.70

布設

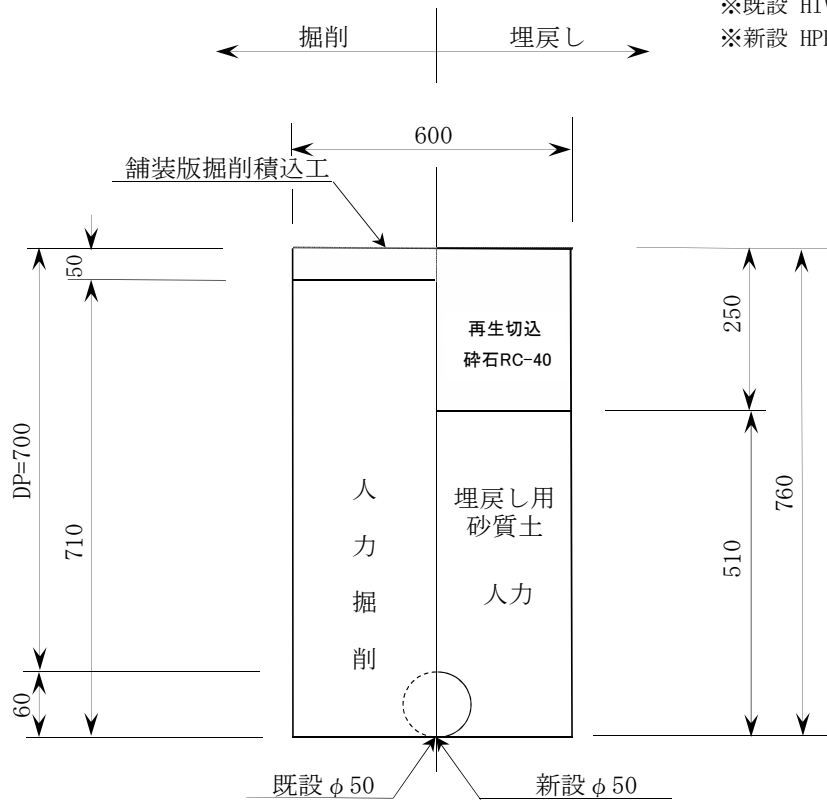
新設 HPPE50 DP=0.70

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	$1.00 \times 2$	$= 2.00 \text{ m}$
舗装版人力掘削積込工	Ast=5cm	$0.60 \times 1.00$	$= 0.60 \text{ m}^2$
人力掘削積込工		$(0.60 \times 0.71 - 0.003) \times 1.00$	$= 0.42 \text{ m}^2$
人力運搬工	市道及び県道まで 60m以下	$(0.60 \times 0.71 - 0.003) \times 1.00$	$= 0.42 \text{ m}^2$
人力埋戻工	砂質土	$(0.60 \times 0.51 - 0.003) \times 1.00$	$= 0.30 \text{ m}^2$
	発生土		$= \text{m}^2$
残土処分工	機械積 AS 4t車	$0.60 \times 0.05 \times 1.00$	$= 0.03 \text{ m}^2$
残土処分工	機械積 土砂 4t車	0.42	$= 0.42 \text{ m}^2$
路盤工	再生切込碎石 t= 25cm	$0.60 \times 1.00$	$= 0.60 \text{ m}^2$
上層路盤工	再生粒調碎石		$= \text{m}^2$
As舗装工	再生密粒度アスコン		$= \text{m}^2$
発生土運搬工 (仮置場)	0.2m <sup>3</sup> バックホウ 4t車	$\div 0.90$	$= \text{m}^2$

略

図

※既設 HIVP50控除 0.003 m<sup>2</sup>  
 ※新設 HPPE50控除 0.003 m<sup>2</sup>



配水管土工計算 一般車道舗装(透水) 配水管布設部

1.00 箇所

NO. 7

延長 = 1.15 m

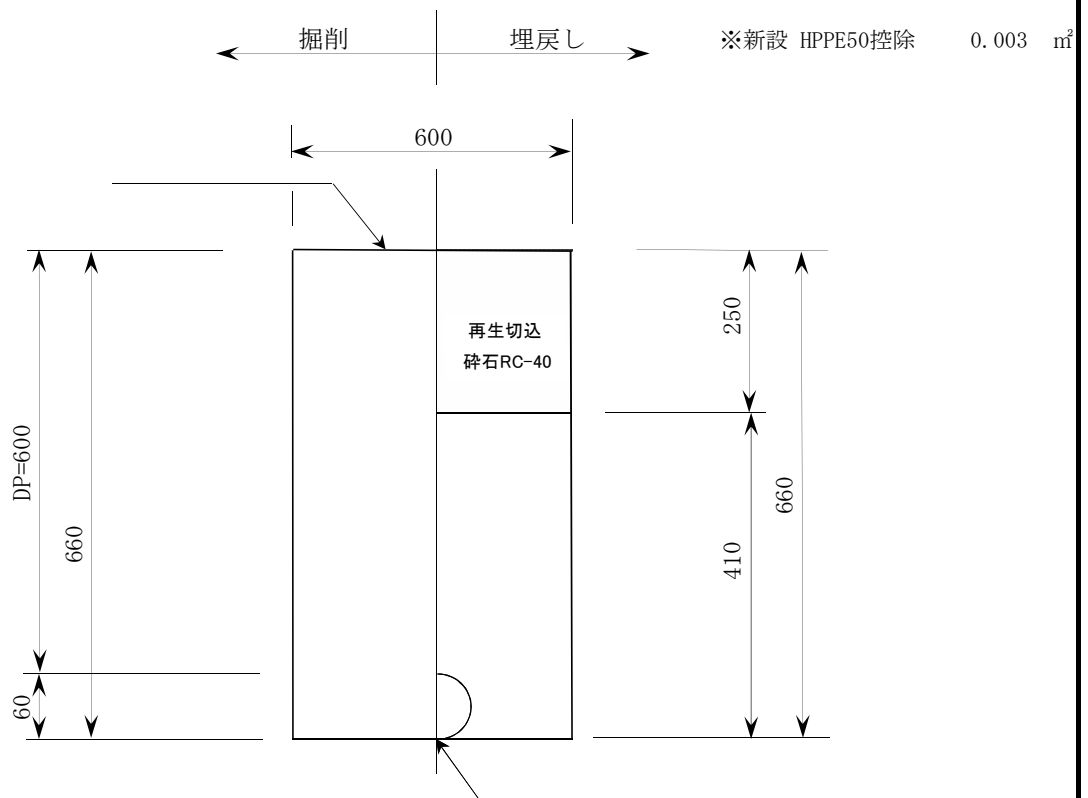
再掘削

新設 HPPE50 DP=0.60

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	=	m
舗装版人力掘削積込工	Ast=5cm	=	m <sup>2</sup>
人力掘削積込工		0.60 × 0.66 × 1.15 =	0.46 m <sup>3</sup>
人力運搬工	市道及び県道まで 60m以下	0.60 × 0.66 × 1.15 =	0.46 m <sup>3</sup>
人力埋戻工	砂質土	( 0.60 × 0.41 - 0.003 ) × 1.15 =	0.28 m <sup>3</sup>
	発生土	=	m <sup>3</sup>
残土処分工	機械積 AS 4t車	=	m <sup>3</sup>
残土処分工	機械積 土砂 4t車	0.46 =	0.46 m <sup>3</sup>
路盤工	再生切込碎石 t= 25cm	0.60 × 1.15 =	0.69 m <sup>3</sup>
上層路盤工	再生粒調碎石	=	m <sup>3</sup>
As舗装工	再生密粒度アスコン	=	m <sup>3</sup>
発生土運搬工 (仮置場)	0.2m <sup>3</sup> バックホウ 4t車	=	m <sup>3</sup>

略

図



仕切弁工



# 本 設 給 水

本設給水箇所数

給水管																					
給水	サドル付き分水栓						道路内給水管延長 (m)				宅内給水工										
	条件			使用材料			管種				宅内標準給水工						標準外の給水工				
	No.	本管管種	本管径	取出管径	HPPE φ50 × φ25	HPPE φ50 × φ20	PP φ20	PP φ25	PP φ30	PP φ40	メーター接続 φ20以下 φ25	止水栓接続 φ20以下 φ25	境界接続 φ20以下 φ25	金属継手追加	その他	概要					
	1	HPPE	φ50	φ25	1						1										
	2	HPPE	φ50	φ20		1						1									
	3	HPPE	φ50	φ20		1					1										
	4	HPPE	φ50	φ20		1					0.9										
	5	HPPE	φ50	φ20		1					0.3										
	6	HPPE	φ50	φ20		1					0.6					道路内接続					
	7	HPPE	φ50	φ20		1					0.5										
	8	HPPE	φ50	φ20		1					0.5										
	9	HPPE	φ50	φ20		1					0.5										
	10	HPPE	φ50	φ20		1					0.7										
	11	HPPE	φ50	φ20		1					0.5										
	12	HPPE	φ50	φ20		1					0.6					1					
合計					1	11					8.6	0.7				8	1	2		1	

# 本設給水土工延長

給水管布設箇所		道路内						宅内（～止水栓）H=0.5、機械掘削				宅内（止水栓～）H=0.3、人力掘削											
No.	水栓番号	As			砂利			土・砂利		Co		As		その他		土・砂利		Co		As		その他	
		土工f			土工g			土工a	土工b	土工c		土工d	土工e	土工f		土工g	土工h	土工i	土工j	土工k	土工l	土工m	土工n
1	2633	0.4			0.3					0.5										1.0			
2	5273	2.3			0.3			4.8		3.9													
3	32388	0.6			0.3				0.5								0.5						
4	32389	0.6			0.3					0.5										0.5			
5	82390	0.0			0.3				0.5											0.5			
6	32391	0.3			0.3																		
7	780	0.2			0.3			0.5												0.5			
8	5096	0.2			0.3			0.5												1.0			
9	8751	0.2			0.3			0.5												1.0			
10	9186	0.4			0.3			0.5												6.8			
11	32392	0.2			0.3			0.5												0.5			
12	10752	0.3			0.3			0.5															
合計		5.7			3.6			7.8	1.0	4.9										9.8	1.0	1.5	



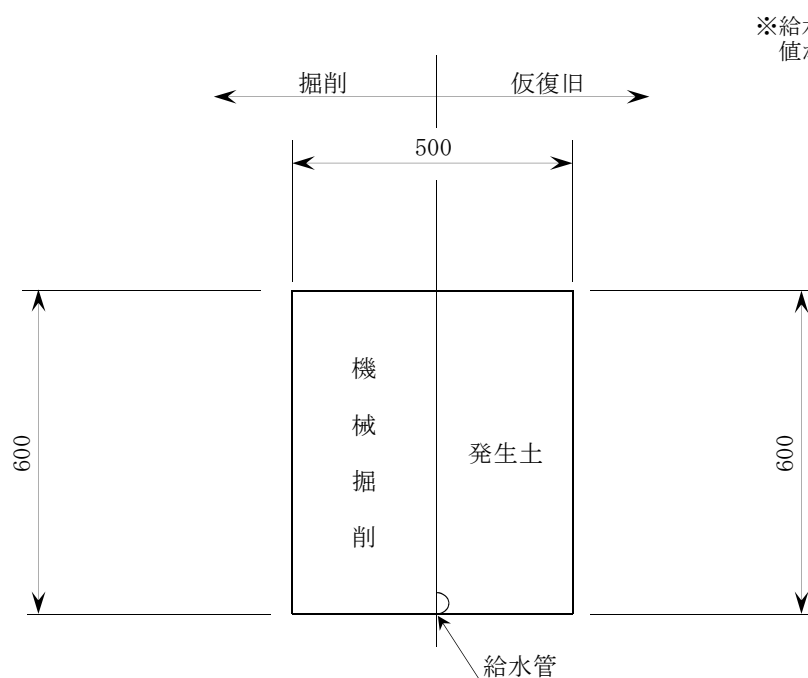
境界～乙止水栓

掘削幅 0.50

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	=	m
舗装版切断工	C0厚15cm以下	=	m
舗装版人力掘削工	Ast=10cm以下	=	m <sup>2</sup>
構造物とりこわし工	人力 無筋C0	=	m <sup>2</sup>
人力掘削工		0.50 × 0.60 × 1.00	= 0.30 m <sup>3</sup>
人力運搬工	市道及び県道まで 60m以下	=	0.30 m <sup>3</sup>
人力埋戻工	砂質土	=	m <sup>3</sup>
人力埋戻工	発生土	0.50 × 0.60 × 1.00	= 0.30 m <sup>3</sup>
残土処分工	人力積 AS	=	m <sup>3</sup>
残土処分工	人力積 C0	=	m <sup>3</sup>
残土処分工	人力積 土砂	0.30 - 0.33	= -0.03 m <sup>3</sup>
路盤工	再生切込碎石	×	m <sup>2</sup>
路盤工 (宅地内)	再生切込碎石	=	m <sup>2</sup>
舗装工 (宅地内)	再生密粒度アスコン	=	m <sup>2</sup>
コンクリート工		=	m <sup>3</sup>
発生土運搬工 (仮置場)	人力 20m以下	0.30 ÷ 0.90	= 0.33 m <sup>3</sup>

略

図



給水管土工計算

宅地内(Co)

土工 b

1.00 m 当り

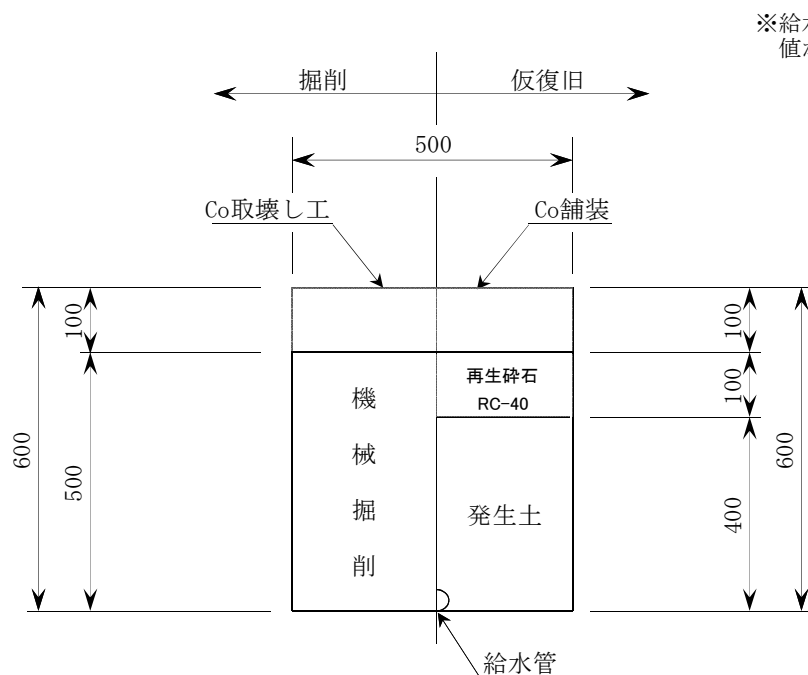
境界～乙止水栓

掘削幅 0.50

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	=	m
舗装版切断工	C0厚15cm以下	1.00 × 2	2.00 m
舗装版人力掘削工	Ast=10cm以下	=	m <sup>2</sup>
構造物とりこわし工	人力 無筋C0	0.50 × 1.00 × 0.10	0.05 m <sup>2</sup>
人力掘削工		0.50 × 0.50 × 1.00	0.25 m <sup>3</sup>
人力運搬工	市道及び県道まで 60m以下	=	0.25 m <sup>3</sup>
人力埋戻工	砂質土	=	m <sup>3</sup>
人力埋戻工	発生土	0.50 × 0.40 × 1.00	0.20 m <sup>3</sup>
残土処分工	人力積 AS	=	m <sup>3</sup>
残土処分工	人力積 C0	0.50 × 0.10 × 1.00	0.05 m <sup>3</sup>
残土処分工	人力積 土砂	0.25 - 0.22	0.03 m <sup>3</sup>
路盤工	再生切込碎石	×	m <sup>2</sup>
路盤工 (宅地内)	再生切込碎石 t= 10cm	0.50 × 1.00	0.50 m <sup>2</sup>
舗装工 (宅地内)	再生密粒度アスコン t= 10cm	=	m <sup>2</sup>
コンクリート工	t= 10cm	0.50 × 1.00 × 0.10	0.05 m <sup>3</sup>
発生土運搬工 (仮置場)	人力 20m以下	0.20 ÷ 0.90	0.22 m <sup>3</sup>

略

図



給水管土工計算

宅地内(As)

土工 c

1.00 m 当り

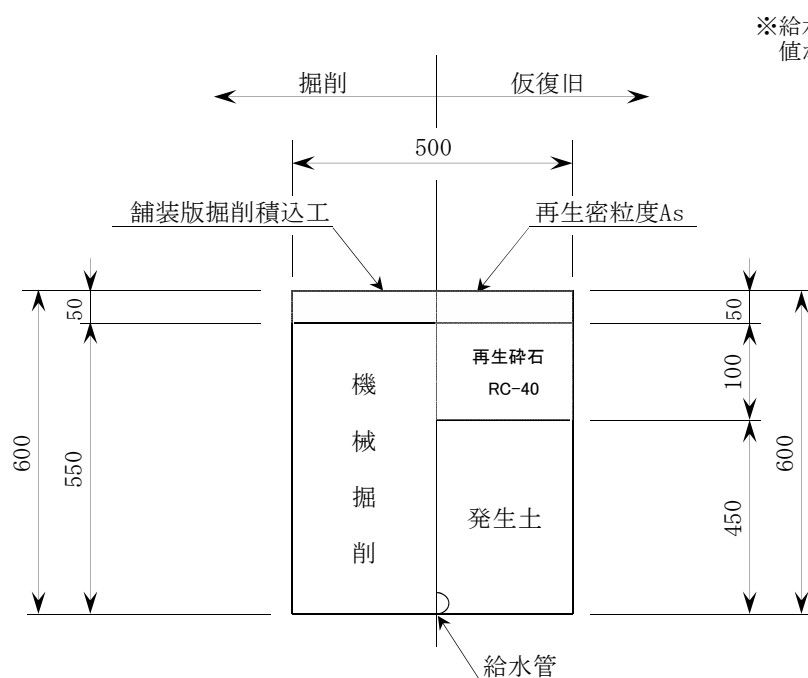
境界～乙止水栓

掘削幅 0.50

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	$1.00 \times 2$	$= 2.00 \text{ m}$
舗装版切断工	C0厚15cm以下		$= \text{ m}$
舗装版人力掘削工	Ast=10cm以下	$0.50 \times 1.00$	$= 0.50 \text{ m}^2$
構造物とりこわし工	人力 無筋C0		$= \text{ m}^2$
人力掘削工		$0.50 \times 0.55 \times 1.00$	$= 0.28 \text{ m}^3$
人力運搬工	市道及び県道まで 60m以下		$= 0.28 \text{ m}^3$
人力埋戻工	砂質土		$= \text{ m}^3$
人力埋戻工	発生土	$0.50 \times 0.45 \times 1.00$	$= 0.23 \text{ m}^3$
残土処分工	人力積 AS	$0.50 \times 0.05 \times 1.00$	$= 0.03 \text{ m}^3$
残土処分工	人力積 C0		$= \text{ m}^3$
残土処分工	人力積 土砂	$0.28 - 0.26$	$= 0.02 \text{ m}^3$
路盤工	再生切込碎石 t= 10cm	$\times$	$= \text{ m}^3$
路盤工 (宅地内)	再生切込碎石 t= 10cm	$0.50 \times 1.00$	$= 0.50 \text{ m}^3$
舗装工 (宅地内)	再生密粒度Asコン t= 5cm	$0.50 \times 1.00$	$= 0.50 \text{ m}^3$
コンクリート工	t= 10cm		$= \text{ m}^3$
発生土運搬工 (仮置場)	人力 20m以下	$0.23 \div 0.90$	$= 0.26 \text{ m}^3$

略

図



給水管土工計算

宅地内(土)

土工d

1.00 m 当り

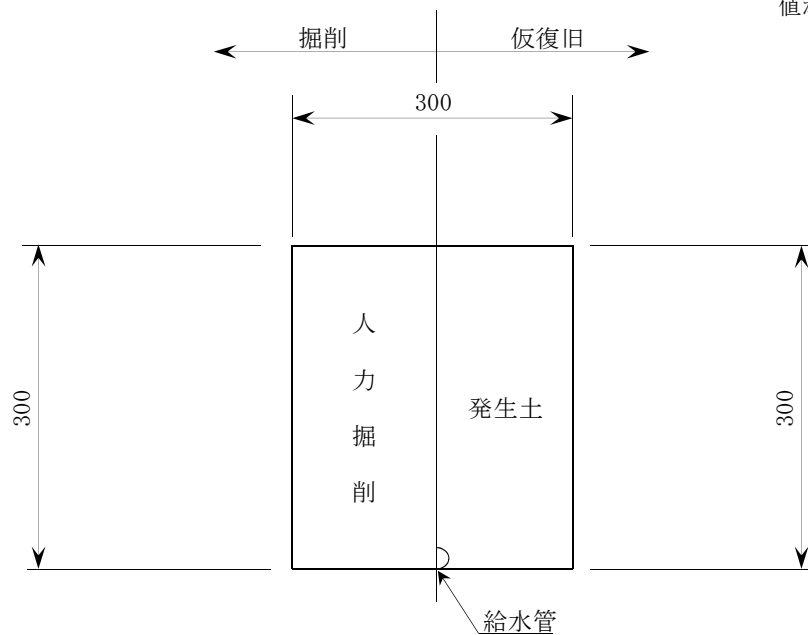
乙止水栓～メーター～既設管

掘削幅 0.30

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	=	m
舗装版切断工	C0厚15cm以下	=	m
舗装版人力掘削工	Ast=10cm以下	=	m <sup>2</sup>
構造物とりこわし工	人力 無筋C0	=	m <sup>2</sup>
人力掘削工		0.30 × 0.30 × 1.00	= 0.09 m <sup>3</sup>
人力運搬工	市道及び県道まで 60m以下	=	0.09 m <sup>3</sup>
人力埋戻工	砂質土	=	m <sup>3</sup>
人力埋戻工	発生土	0.30 × 0.30 × 1.00	= 0.09 m <sup>3</sup>
残土処分工	人力積 AS	=	m <sup>3</sup>
残土処分工	人力積 C0	=	m <sup>3</sup>
残土処分工	人力積 土砂	0.09 - 0.10	= -0.01 m <sup>3</sup>
路盤工	再生切込砕石	=	m <sup>3</sup>
路盤工 (宅地内)	再生切込砕石	=	m <sup>3</sup>
舗装工 (宅地内)	再生密粒度7スコン	=	m <sup>3</sup>
コンクリート工		=	m <sup>3</sup>
発生土運搬工 (仮置場)	人力 20m以下	0.09 ÷ 0.90	= 0.10 m <sup>3</sup>

略

図



※給水管の管体控除は  
値が小さいため計上しない。

給水管土工計算

宅地内(Co)

土工e

1.00 m 当り

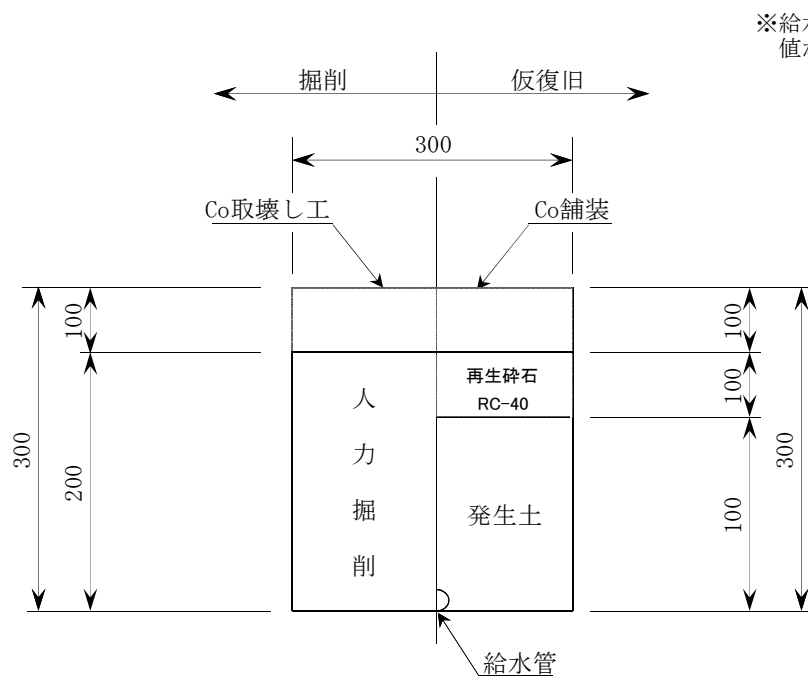
乙止水栓～メーター～既設管

掘削幅 0.30

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	=	m
舗装版切断工	C0厚15cm以下	1.00 × 2	2.00 m
舗装版人力掘削工	Ast=10cm以下	=	m <sup>2</sup>
構造物とりこわし工	人力 無筋C0	0.30 × 1.00 × 0.10	0.03 m <sup>2</sup>
人力掘削工		0.30 × 0.20 × 1.00	0.06 m <sup>3</sup>
人力運搬工	市道及び県道まで 60m以下	=	0.06 m <sup>3</sup>
人力埋戻工	砂質土	=	m <sup>3</sup>
人力埋戻工	発生土	0.30 × 0.10 × 1.00	0.03 m <sup>3</sup>
残土処分工	人力積 AS	=	m <sup>3</sup>
残土処分工	人力積 C0	0.30 × 0.10 × 1.00	0.03 m <sup>3</sup>
残土処分工	人力積 土砂	0.06 - 0.03	0.03 m <sup>3</sup>
路盤工	再生切込碎石	=	m <sup>3</sup>
路盤工 (宅地内)	再生切込碎石	0.30 × 1.00	0.30 m <sup>3</sup>
舗装工 (宅地内)	再生密粒度7スコン	=	m <sup>3</sup>
コンクリート工	t= 10cm	0.30 × 1.00 × 0.10	0.03 m <sup>3</sup>
発生土運搬工 (仮置場)	人力 20m以下	0.03 ÷ 0.90	0.03 m <sup>3</sup>

略

図



給水管土工計算

宅地内(As)

土工 f

1.00 m 当り

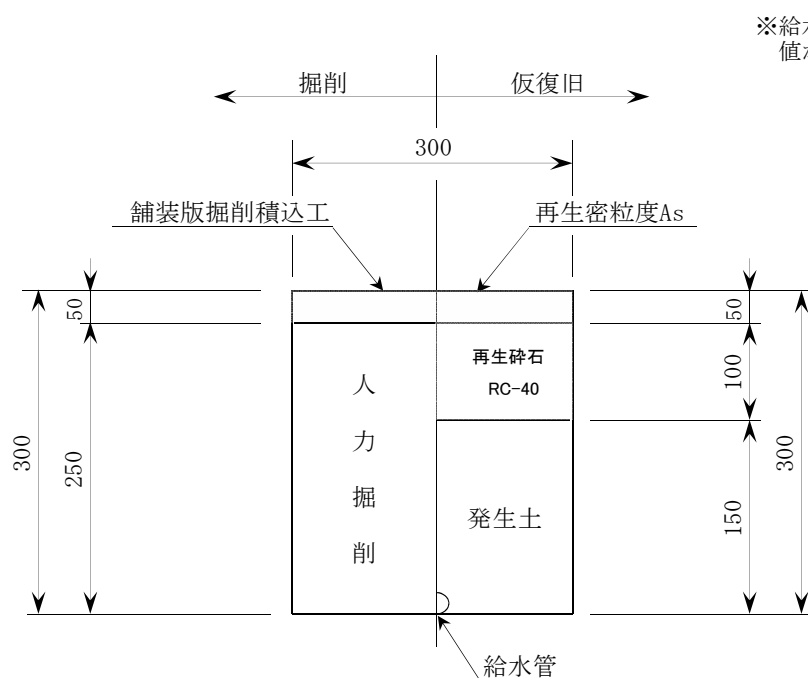
乙止水栓～メーター～既設管

掘削幅 0.30

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	$1.00 \times 2$	$= 2.00 \text{ m}$
舗装版切断工	C0厚15cm以下		$= \text{m}$
舗装版人力掘削工	Ast=10cm以下	$0.30 \times 1.00$	$= 0.30 \text{ m}^2$
構造物とりこわし工	人力 無筋C0		$= \text{m}^2$
人力掘削工		$0.30 \times 0.25 \times 1.00$	$= 0.08 \text{ m}^3$
人力運搬工	市道及び県道まで 60m以下		$= 0.08 \text{ m}^3$
人力埋戻工	砂質土		$= \text{m}^3$
人力埋戻工	発生土	$0.30 \times 0.15 \times 1.00$	$= 0.05 \text{ m}^3$
残土処分工	人力積 AS	$0.30 \times 0.05 \times 1.00$	$= 0.02 \text{ m}^3$
残土処分工	人力積 C0		$= \text{m}^3$
残土処分工	人力積 土砂	$0.08 - 0.06$	$= 0.02 \text{ m}^3$
路盤工	再生切込碎石 t= 10cm		$= \text{m}^3$
路盤工 (宅地内)	再生切込碎石	$0.30 \times 1.00$	$= 0.30 \text{ m}^3$
舗装工 (宅地内)	再生密粒度Asコン t= 5cm	$0.30 \times 1.00$	$= 0.30 \text{ m}^3$
コンクリート工			$= \text{m}^3$
発生土運搬工 (仮置場)	人力 20m以下	$0.05 \div 0.90$	$= 0.06 \text{ m}^3$

略

図



給水管土工計算

土工g

メーター接続

延長 = 1.00 m

一般車道透水 (DP=0.60)

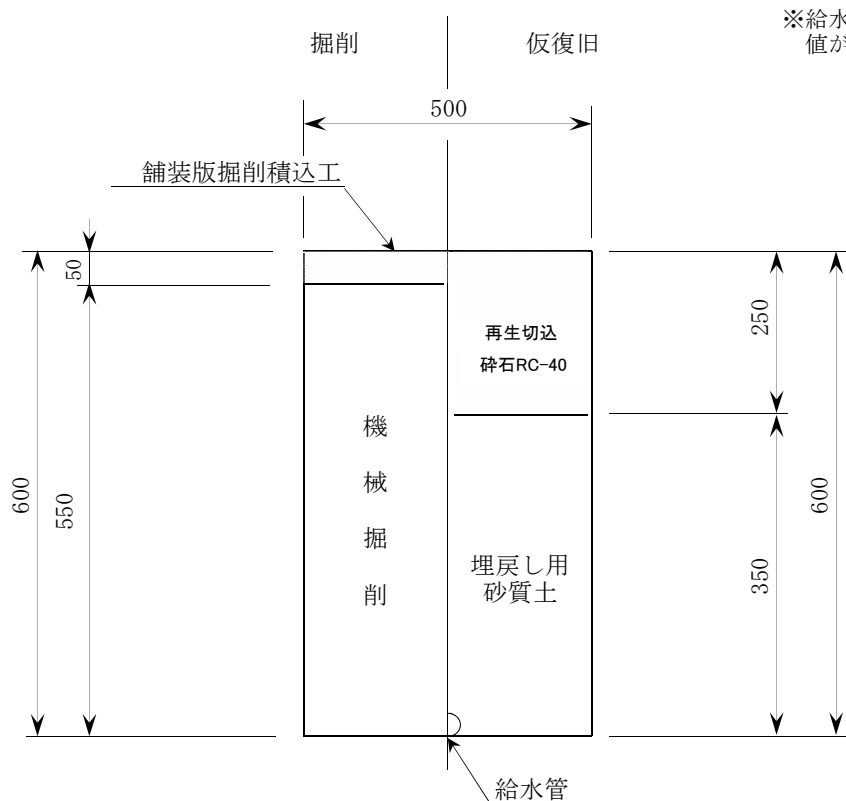
掘削幅 0.50

1箇所当たり

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	AS厚15cm以下	$1.00 \times 2$	$= 2.00 \text{ m}$
舗装版切断工	C0厚15cm以下		$= \text{m}$
舗装版人力掘削工	Ast=10cm以下	$0.50 \times 1.00$	$= 0.50 \text{ m}^2$
構造物とりこわし工	人力 無筋C0		$= \text{m}^2$
人力掘削工		$0.50 \times 0.55 \times 1.00$	$= 0.28 \text{ m}^3$
人力運搬工	市道及び県道まで 60m以下		$= 0.28 \text{ m}^3$
人力埋戻工	砂質土	$0.50 \times 0.35 \times 1.00$	$= 0.18 \text{ m}^3$
人力埋戻工	発生土		$= \text{m}^3$
残土処分工	人力積 AS	$0.50 \times 0.05 \times 1.00$	$= 0.03 \text{ m}^3$
残土処分工	人力積 C0		$= \text{m}^3$
残土処分工	人力積 土砂	0.28	$= 0.28 \text{ m}^3$
路盤工	再生切込碎石 t= 25cm	$0.50 \times 1.00$	$= 0.50 \text{ m}^2$
路盤工 (宅地内)	再生切込碎石		$\text{m}^2$
舗装工 (宅地内)	再生密粒度7スコン		$\text{m}^2$
コンクリート工			$\text{m}^3$
発生土運搬工 (仮置場)	人力 20m以下		$\text{m}^3$

略

図



給水管土工計算

土工h

仮復旧部掘削

延長 = 1.00 m

一般車道透水 (DP=0.60)

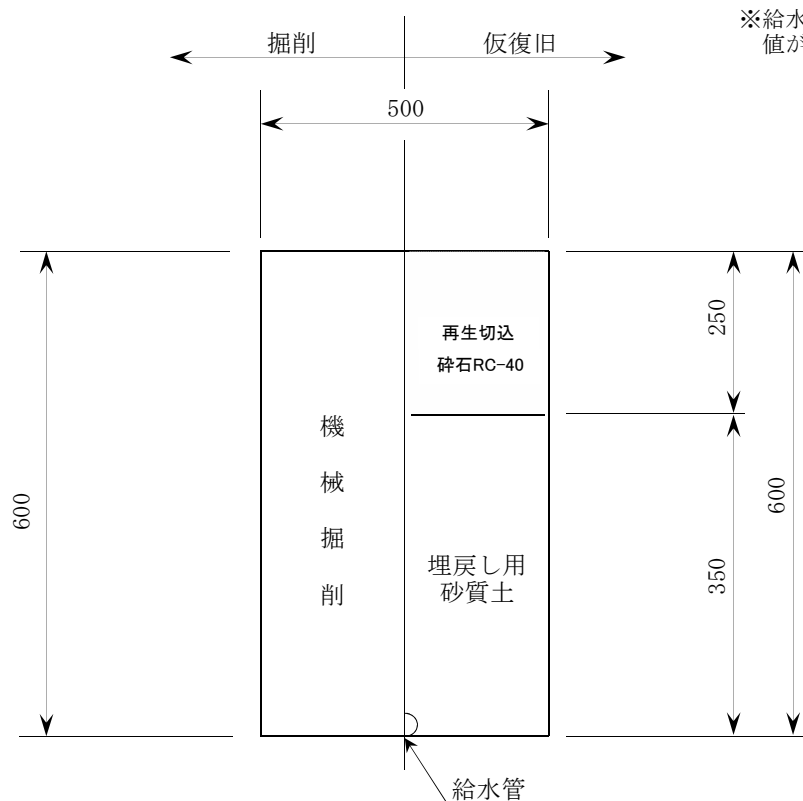
掘削幅 0.50

1箇所当たり

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	=	m
舗装版切断工	C0厚15cm以下	=	m
舗装版人力掘削工	Ast=10cm以下	=	m <sup>2</sup>
構造物とりこわし工	人力 無筋C0	=	m <sup>2</sup>
人力掘削工		0.50 × 0.60 × 1.00	= 0.30 m <sup>3</sup>
人力運搬工	市道及び県道まで 60m以下	=	0.30 m <sup>3</sup>
人力埋戻工	砂質土	0.50 × 0.35 × 1.00	= 0.18 m <sup>3</sup>
人力埋戻工	発生土	=	m <sup>3</sup>
残土処分工	人力積 AS	=	m <sup>3</sup>
残土処分工	人力積 C0	=	m <sup>3</sup>
残土処分工	人力積 土砂	0.30	= 0.30 m <sup>3</sup>
路盤工	再生切込碎石 t= 25cm	0.50 × 1.00	= 0.50 m <sup>2</sup>
路盤工 (宅地内)	再生切込碎石		m <sup>2</sup>
舗装工 (宅地内)	再生密粒度7スコン		m <sup>2</sup>
コンクリート工			m <sup>3</sup>
発生土運搬工 (仮置場)	人力 20m以下		m <sup>3</sup>

略

図



撤去工







撤去土工計算

一般車道舗装(密粒) 仕切弁管撤去部 延長 = 1.00 箇所

NO. 1

既設 DCIP75

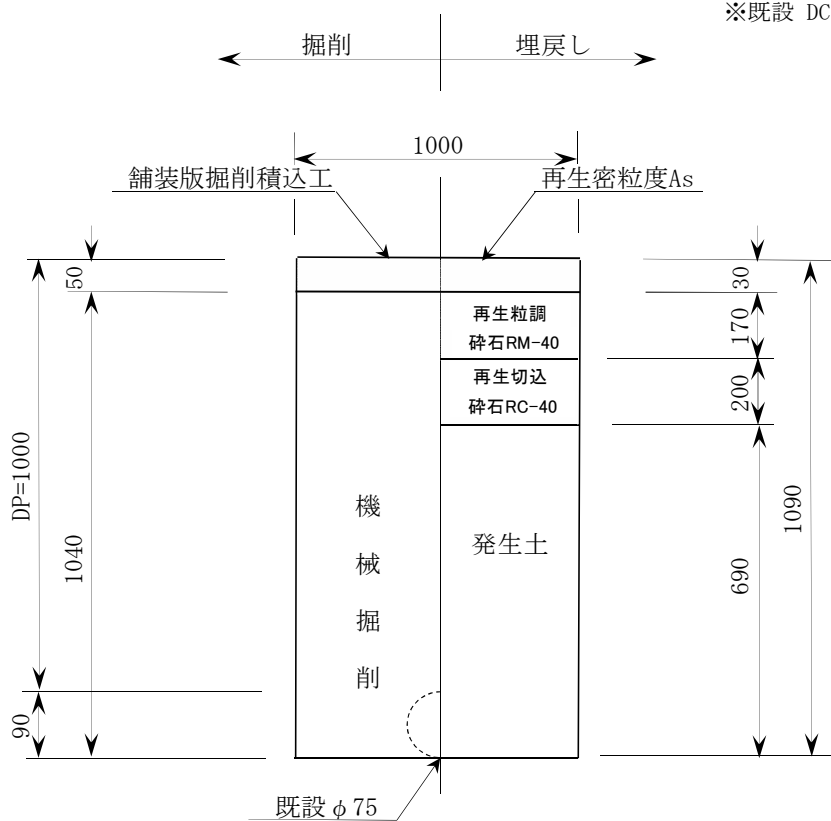
DP=1.00

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	$(1.00 + 1.00) \times 2$	4.00 m
舗装版直接掘削積込工	0.20m <sup>3</sup> バックホウ Ast=10cm以下	$1.00 \times 1.00$	1.00 m <sup>2</sup>
機械掘削積込工	0.2m <sup>3</sup> バックホウ	$(1.00 \times 1.04 - 0.006) \times 1.00$	1.03 m <sup>3</sup>
機械埋戻工	0.2m <sup>3</sup> バックホウ 砂質土		= m <sup>3</sup>
	0.2m <sup>3</sup> バックホウ 発生土	$1.00 \times 0.69 \times 1.00$	0.69 m <sup>3</sup>
残土処分工	機械積 AS 4t車	$1.00 \times 0.05 \times 1.00$	0.05 m <sup>3</sup>
残土処分工	機械積 土砂 4t車	$1.03 - 0.77$	0.26 m <sup>3</sup>
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	$1.00 \times 1.00$	1.00 m <sup>2</sup>
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 17cm	$1.00 \times 1.00$	1.00 m <sup>2</sup>
As舗装工	再生密粒度Asコン t= 3cm	$1.00 \times 1.00$	1.00 m <sup>2</sup>
発生土運搬工 (仮置場)	0.2m <sup>3</sup> バックホウ 4t車	$0.69 \div 0.90$	0.77 m <sup>3</sup>

略

☒

※既設 DCIP75控除 0.006 m<sup>2</sup>



撤去土工計算

一般車道舗装(透水) 仕切弁管撤去部・既設管残置部

延長 = 1.00 箇所

NO. 2

既設 HIVP50

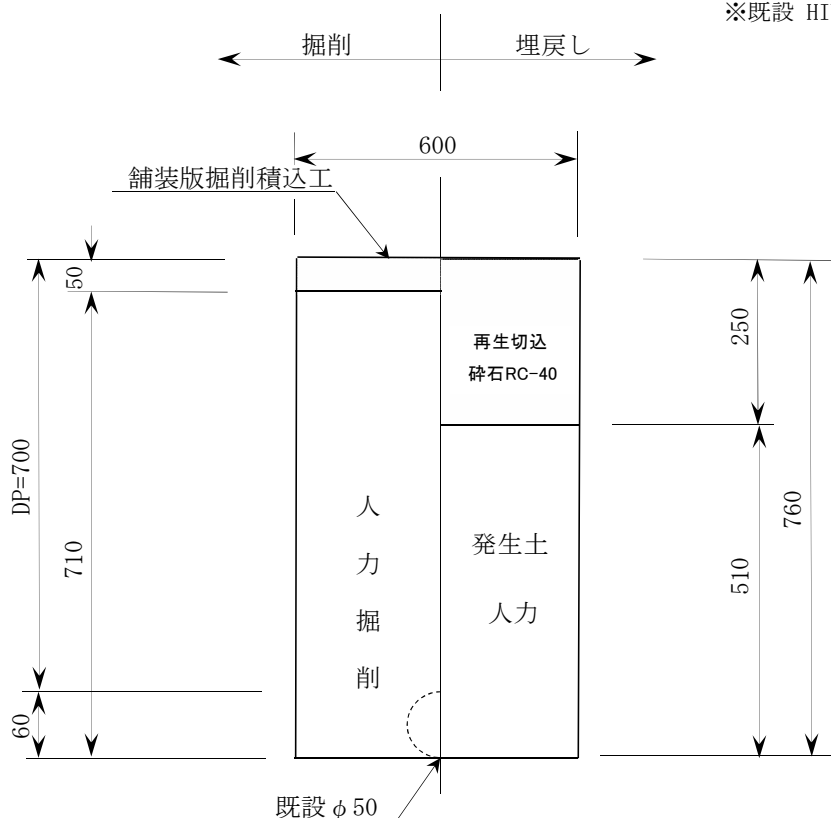
DP=0.70

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	$1.00 \times 2 =$	2.00 m
舗装版人力掘削積込工	Ast=5cm	$0.60 \times 1.00 =$	0.60 m <sup>2</sup>
			m <sup>2</sup>
人力掘削積込工		$(0.60 \times 0.71 - 0.003) \times 1.00 =$	0.42 m <sup>2</sup>
人力運搬工	発生土 20m以下		0.42 m <sup>2</sup>
人力埋戻工	砂質土		m <sup>2</sup>
	発生土	$0.60 \times 0.51 \times 1.00 =$	0.31 m <sup>2</sup>
残土処分工	人力積 AS 4t車	$0.60 \times 0.05 \times 1.00 =$	0.03 m <sup>2</sup>
残土処分工	人力積 土砂 4t車	$0.42 - 0.34 =$	0.08 m <sup>2</sup>
路盤工	再生切込碎石 t= 25cm	$0.60 \times 1.00 =$	0.60 m <sup>2</sup>
上層路盤工	再生粒調碎石		m <sup>2</sup>
As舗装工	再生密粒度アスコン		m <sup>2</sup>
発生土運搬工 (仮置場)	0.2m <sup>3</sup> バックホ 4t車		m <sup>2</sup>
人力運搬工 (仮置)	発生土 20m以下	$0.31 \div 0.90 =$	0.34 m <sup>2</sup>

略

☒

※既設 HIVP50控除 0.003 m<sup>2</sup>



撤去土工計算

砂利舗装

仕切弁管撤去部

延長

=

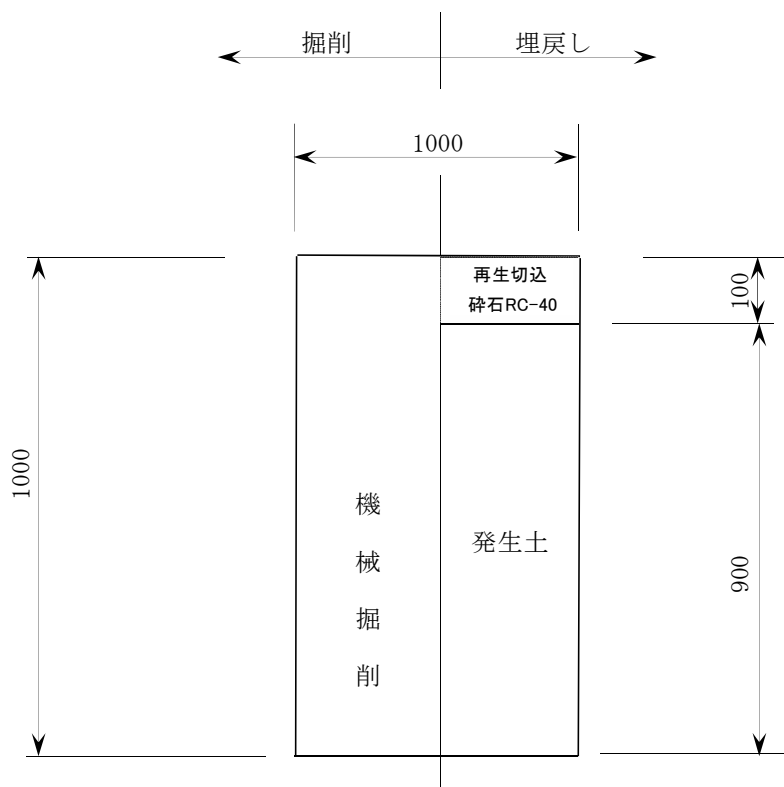
1.00 箇所

NO. 3

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下		m
舗装版直接掘削積込工	0.20m <sup>3</sup> バックホウ Ast=10cm以下		m <sup>2</sup>
機械掘削積込工	0.2m <sup>3</sup> バックホウ	1.00 × 1.00 × 1.00 =	1.00 m <sup>3</sup>
機械埋戻工	0.2m <sup>3</sup> バックホウ 砂質土		m <sup>3</sup>
	0.2m <sup>3</sup> バックホウ 発生土	1.00 × 0.90 × 1.00 =	0.90 m <sup>3</sup>
残土処分工	機械積 AS 4t車		m <sup>3</sup>
残土処分工	機械積 土砂 4t車	1.00 - 1.00 =	m <sup>3</sup>
路盤工	再生切込碎石 t= 10cm	1.00 × 1.00 =	1.00 m <sup>2</sup>
上層路盤工	再生粒調碎石		m <sup>2</sup>
As舗装工	再生密粒度アスコン		m <sup>2</sup>
発生土運搬工 (仮置場)	0.2m <sup>3</sup> バックホウ 4t車	0.90 ÷ 0.90 =	1.00 m <sup>3</sup>

略

☒



舖 裝 復 旧



濁 水 処 分

# 濁水処理量の算出

## ①基本条件

舗装切断厚	濁水処理量	
	(m <sup>3</sup> /100m)	(m <sup>3</sup> /m)
t=5cm	0.130	0.0013
t=10cm	0.240	0.0024
t=15cm	0.350	0.0035
t=20cm	0.460	0.0046
t=25cm	0.570	0.0057
t=30cm	0.680	0.0068
t=35cm	0.790	0.0079
t=40cm	0.900	0.0090

※左表に該当しない場合

舗装厚 = , 左表り  <sup>舗装厚① 舗装厚②</sup> の値を基準に算出する。

濁水処理量②  :  m<sup>3</sup>/100m  
 濁水処理量①  :  m<sup>3</sup>/100m...※舗装厚5.0cm未満は空白となります

$$\text{濁水処理量} = \frac{(\text{②} - \text{①}) \times \text{濁水処理量②}}{5} =$$

$$= \text{ m}^3/100\text{m} \rightarrow \text{ m}^3/\text{m}$$

舗装厚 = , 左表り  <sup>舗装厚① 舗装厚②</sup> の値を基準に算出する。

濁水処理量②  :  m<sup>3</sup>/100m  
 濁水処理量①  :  m<sup>3</sup>/100m...※舗装厚5.0cm未満は空白となります

$$\text{濁水処理量} = \frac{(\text{②} - \text{①}) \times \text{濁水処理量②}}{5} =$$

$$= \text{ m}^3/100\text{m} \rightarrow \text{ m}^3/\text{m}$$

舗装厚 = , 左表り  <sup>舗装厚① 舗装厚②</sup> の値を基準に算出する。

濁水処理量②  :  m<sup>3</sup>/100m  
 濁水処理量①  :  m<sup>3</sup>/100m...※舗装厚5.0cm未満は空白となります

$$\text{濁水処理量} = \frac{(\text{②} - \text{①}) \times \text{濁水処理量②}}{5} =$$

$$= \text{ m}^3/100\text{m} \rightarrow \text{ m}^3/\text{m}$$

②濁水処理量、台数の算出

〔舗装切断数量〕

種 別	舗装切断長(m)		
	t=5cm	t=10cm	
本設 φ 50	184.86		
給水管(As)	24.20		
給水管(Co)		4.00	
舗装復旧	9.30		
撤去工	6.00		
計	224.36	4.00	

〔濁水処理量〕

種 別	舗装切断長 A (m)	濁水処理量 B (m <sup>3</sup> /m)	総濁水処理量 A×B (m <sup>3</sup> )
t=5cm	224.36	0.0013	0.292
t=10cm	4.00	0.0024	0.010
計			0.302

よって、上表より「濁水処理量」は 0.302m<sup>3</sup> となる

〔濁水運搬台数〕 1台=1.666m<sup>3</sup>

$$0.302\text{m}^3 \div 1.666\text{m}^3/\text{台} = 0.182\text{台}$$

$$= \underline{\underline{1\text{台}}}$$

処分

運搬・処分集計表

		運搬距離	配水管	本設給水	本復旧			撤去	濁水計算書	計算	合計	積算数量	単位
運搬工	残土運搬	8.9km	43.01	2.41				0.34			45.76	50	m <sup>3</sup>
	ガラ運搬 (As・Co無筋)	5.1km								6.79+0.08	6.87	7	m <sup>3</sup>
	As殻		2.78	0.32	3.61			0.08			6.79		m <sup>3</sup>
	Co殻（無筋）			0.08							0.08		m <sup>3</sup>
	濁水運搬 (10km以内)	8.6km							1		1	1	台
	現場発生品	4.8km	0.001					0.141			0.142	0.14	t
処分工	残土処分										45.76	50	m <sup>3</sup>
	ガラ処分 (As無筋)									6.79×2.35	15.96	16	t
	ガラ処分 (Co無筋)									0.08×2.35	0.19	0.2	t
	濁水処分								0.302		0.302	0.3	m <sup>3</sup>

处分先

## 処分先

### AS,CO殻

住所 : 飯能市芦荻場475  
 名称 : (株)丸宮  
 DID : あり  
 距離 : 5.1 km



### 建設発生土

住所 : 青梅市成木5-1390  
 名称 : UCR(オ)  
 DID : あり  
 距離 : 8.9 km



### As濁水

住所 : 狭山市広瀬台2-12-13  
 名称 : 大丸商事(株)  
 DID : あり  
 距離 : 8.6 km



### 現場発生品

住所 : 飯能市小岩井709-1  
 名称 : 小岩井浄水場  
 DID : あり  
 距離 : 4.8 km



# 日数計算

## 開削工事日数算定表

分類	工種	種別	規格	施工量		作業量		実日数	備考
新設管	舗装版取壊工	舗装版切断工	As t=15cm以下	190.9	m		m/日	0.9	
		舗装版掘削積込工	As t=10cm以下 (BH0.20m3)	2.4	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日	0.0	
		舗装版人力掘削工	As t=4~10cm	54.7	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日	1.3	
	機械掘削工	機械掘削積込工	BH0.20m3	3.4	m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup> /日	0.1	
		人力掘削工	床掘	42.1	m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup> /日	8.8	
	埋戻工	機械埋戻工	BH0.20m3	2.5	m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup> /日	0.1	
		人力埋戻工	BH0.20m3	27.0	m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup> /日	3.6	
	管布設工	管布設工	HPPE φ 50	91.4	m		m/日	2.6	
		管継手工	HPPE φ 50	59	口		口/日	6.6	
		管継手工(メカニカル)VP,HPPE	φ 75以下	4	口		口/日	0.2	
		管継手工(メカニカル)DIP	φ 75	1	口		口/日	0.1	
		管継手工(フランジ)	φ 75	1	口		口/日	0.1	
	仮復旧工	表層工	As t=5cm以下	2.30	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日	0.0	
		路盤工	2層 人力	67.13	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日	3.0	
		下層路盤工	1層 1.8m未満	2.30	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日	0.0	
上層路盤工		2層 1.8m未満	2.30	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日	0.0		
既設管	既設管撤去	既設管撤去工	DIP φ 75	0.50	m		m/日	0.0	
小穴掘削	小穴掘削工	仕切弁管撤去工	既設	3	箇所		箇所/日	1.5	
給水管	給水管切替工	給水管取出し・布設	※仮給水含む	12	件		件/日	3.0	
	舗装版取壊工	舗装版切断工	As t=15cm以下	24.20	m		m/日	0.1	
			Co t=15cm以下	4.00	m		m/日	0.0	
		舗装版人力掘削工	t=10cm以下	5.75	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日	0.1	
		構造物とりこわし工(無筋)	Co t=10cm以下 (人力)	0.08	m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup> /日	0.0	
	機械掘削工	人力掘削		7.70	m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup> /日	4.5	
	埋戻工	人力埋戻工		6.32	m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup> /日	0.2	
	仮復旧工	表層工	As t=15cm以下	2.90	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日	0.0	
		コンクリート工(宅内)	t=10cm 幅員1.4m未満	0.08	m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup> /日	0.0	
		路盤工	2層 人力	4.65	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日	0.2	
		路盤工	1層 人力	3.70	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日	0.1	
舗装本復旧	舗装版取壊工	舗装版切断工	As t=15cm以下	9.30	m		m/日	0.0	
		舗装版掘削積込工	As t=10cm以下 (BH0.20m3)	14.10	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日	0.1	
		舗装版人力掘削工	t=10cm以下	59.00	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日	1.4	
	舗装復旧工	不陸整正工	1.8m以上	14.10	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日	0.0	
		不陸整正工	1.8m以下	121.50	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日	0.6	
		As舗装工(車道) 機械	As t=5cm 幅員1.4m以上	14.10	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日	0.0	
	透水性As舗装工	As t=5cm	121.50	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日	0.7		
合計								39.9	
交通誘導員A		40日 × 1人 = 40人							
交通誘導員B		40日 × 1人 = 40人							